

“遊んで 備える”をテーマに「東京国際消防防災展」に初出展

～平時に楽しみ、有事に役立つ。自主・コミュニティ防災のスタイルを提案～

ヤマハ発動機株式会社と、国内グループ会社のヤマハモーターエンジニアリング株式会社は、6 月 15 日(木)から 18 日(日)まで、東京ビッグサイトで開催される日本最大級の消防防災見本市「東京国際消防防災展 2023」に共同で初出展します。

出展テーマは、「PLAY SURVIVE 遊んで 備える」。防災ツール(資機材)の日常ユースをひろげることで、「平時に楽しみ、有事に役立つ」自主・コミュニティ防災のスタイルを提案します。

災害リスクの増大が懸念される中、行政や公助の機能・リーチをカバーするための「自分を守るための準備・行動」、そして「助け合いの精神と、平時におけるネットワークづくり」の重要性が高まっています。その一方、備えていた機材がいざという時に「動かなかった」「動かせなかった」というトラブルも少なくありません。必要な時、必要なパフォーマンスを発揮させるためには、日常の暮らしの中で機材に親しむ機会をつくり、点検や整備、さらには正しく安全に操作するための知識やスキルを習得・習熟しておくことが大切です。

共同出展ブース(東 7 ホール)では、消防向け次世代型電動アシストホースカーの体験や、煙の中での透過性に優れた LED 投光器、さらに洪水・水難救助艇や ROV(四輪バギー)、スポーツタイプの電動アシスト自転車(eBike)などの展示を通じて、「平時に楽しみ、有事に役立つ」ヤマハ発動機らしい自主・地区防災のスタイルを提案します。



東京国際消防防災展 2023 共同出展ブーステーマ「PLAY SURVIVE 遊んで 備える」

■ヤマハ発動機防災サイト「PLAY SURVIVE 遊んで 備える」

<https://global.yamaha-motor.com/jp/showroom/event/playsurvive>

なお、読者・視聴者からのお問い合わせは、
「カスタマーコミュニケーションセンター(フリーダイヤル 0120-090-819)」へお寄せ下さい。

【「東京国際消防防災展2023」主要出展モデル】

次世代型電動アシストホースカー「X-QUICKER(クロスクイッカー)」(消防向け市販予定モデル)



スロットル操作が不要な独自の制御システムで、パワフルかつ扱いやすさを実現。また、大径タイヤなどの採用により、消防隊員の活動を迅速・確実・安心にサポートします。2024 年 4 月発売予定。

LED可搬式投光器「X-BUSTER LED(クロスバスター)」(消防向け市販モデル)



煙の中での透光性に優れた消防活動向け LED 投光器。集光／拡散の 2 つのモード選択ができ、独自のスイッチレイアウトで片手操作が簡単です。4 段カラビナフックなど、扱いやすく確実に活動するための機能を装備しました。

洪水・水難救助艇「RS-13」(コンセプトモデル 開発モデル)



洪水だけでなく、ショアレスキューを含む水難現場における救助活動を目的としたボートです。運用の現場から声を集め、救助や避難など目的に合わせた仕様の提案を経て、最適な機能・性能をパッケージしました。全長約 4m のコンパクトな設計ながら乗船定員は最大 6 名。操安性を追求した運動性能や、船首からの乗降可能な開閉式フロントゲートの採用など、災害現場における高い現場対応力を備えています。 ※写真は展示物とは一部仕様が異なります

ROV(四輪バギー)「Wolverine RMAX4 1000」(コンセプトモデル ※特別カラー)



オフロードの走破性を追求した定員 4 人の四輪バギーです。北米市場では主にレクリエーションシーンで親しまれている製品ですが、災害時や救難現場での活用の可能性を探るため、参考出品車両として展示します。さまざまな路面環境での使用を想定し、2 気筒 999cc の高トルク出力エンジンと、エンジン特性のモード切替機能を備えています。 ※海外市販モデルに特別カラーを施して出展

スポーツ電動アシスト自転車「YPJ-MT Pro」(市販モデル)



オフロードでの走行性能を追求したスポーツ電動アシスト自転車(eBike)です。マウンテンライドなどのレジャーシーンで親しまれている製品ですが、災害時の移動手段など「遊んで備える」を具現化する製品として、一部グラフィックを変更したモデルを出展します。力強いトルクを実現したドライブユニット「PW-X3」や、オフロード走行に適した MTB コンポーネントを備えています。